

口絵	頁
序	
凡例	
目次	
第1編 愛知の自然のなりたち	
第1章 愛知の大地	
第1節 愛知の位置と地形	4
1 位置	4
2 地形の特徴	4
3 各地形の特徴－山地～平野～河川～海－	5
第2節 愛知の地質－地盤を構成する古い地層－	18
1 日本列島の中の愛知	18
2 地球科学のミニ研究史	20
3 古生代－大陸の縁辺にあった愛知－	21
4 中生代～新生代古第三紀－激しいマグマ活動と引き裂かれる大地－	28
第2章 愛知の気候	
第1節 愛知の気候の特徴と四季	40
1 世界の中でみる愛知の気候	40
2 日本における愛知の気候	44
第2節 地球温暖化とその影響	53
1 世界の気候変動と地球温暖化	53
2 愛知の気候変動	58
第3節 愛知の豪雨－伊勢湾台風と東海豪雨－	60
1 愛知の豪雨	60
2 伊勢湾台風による豪雨とその影響	60
3 東海豪雨による豪雨とその影響	67
第4節 愛知の雪	73
1 統計値でみる愛知の雪	73
2 愛知に雪が降る気圧配置	75
3 雪に関する典型的な事例	77
第3章 愛知の生物	
第1節 愛知の植物	80
1 自然環境	80
2 種類数	89
3 植物相の特徴	90
4 地域の植物	148
5 おもな植物群落	157
第2節 愛知の脊椎動物	162
1 愛知にはどんな動物が棲んでいるのか	162

2	河川の動物	162
3	平野の動物	173
4	丘陵地の動物	184
5	山地の動物	196
6	半島の動物	201
7	海の動物	202
8	人家近くに棲む動物	205
	第3節 愛知の昆虫	208
1	愛知の昆虫相	208
2	山の昆虫	212
3	里山の昆虫	215
4	水辺の昆虫	226
5	草地の昆虫	230
6	家のまわりの昆虫	232
7	校庭の昆虫	237
	第4節 愛知の貝類	246
1	海の貝類	246
2	感潮域（汽水域）の貝類	256
3	淡水に棲む貝類	259
4	陸に棲む貝類	265
	第4章 愛知の自然の昔と今	
	第1節 日本が熱帯だったころ－1,600万年前の海－	278
1	知多地域－師崎層群	278
2	西三河地域－岡崎層群	286
3	犬山・瀬戸・豊田地域	288
4	東三河地域－設楽層群	289
5	中新世の古地理変遷	298
	第2節 移り変わる堆積盆地－数百万年前の川が運んだ地層－	300
1	東海層群とは	300
2	尾張北東部の東海層群	301
3	知多地域の東海層群	304
4	東海層群の対比と堆積環境	306
5	東海層群の古生物	311
	第3節 氷期と間氷期とのはざま－第四紀の地層と生き物－	319
1	第四紀とは	319
2	前期更新世の地層	320
3	前期～中期更新世の地層	322
4	中期更新世の地層と生き物	323
5	後期更新世の地層と生き物	328

6 最終氷期～完新世の地層と生き物	331
第4節 縄文海進と平野の形成	336
1 日本の縄文時代	336
2 海水準の上昇と愛知の考古遺跡	336
3 沖積平野の面積の増大	338
4 矢作川中流域埋没林	340
第5節 ヒトと自然との交渉史－遺跡発掘の現場から－	343
1 弥生時代	343
2 古墳時代の小区画水田	349
3 古代の塩作り	350
4 中世	352
5 近世	356
第II編 愛知の自然と人々	
第1章 愛知の地学誌	
第1節 特徴的な地形・地質	364
1 愛知県自然環境保全地域	364
2 天然記念物・名勝	366
3 そのほかの地形・地質	380
第2節 大地のめぐみ	382
1 金属鉱物	382
2 非金属鉱物・石材など	387
3 温泉	389
第3節 化石研究史	391
第2章 愛知の考古遺跡に関わる自然科学的アプローチ	
第1節 科学的アプローチの導入と方法	396
第2節 古生物	398
1 昆虫化石	398
2 珪藻分析	403
3 プラントオパール	408
4 樹種・種子	409
5 花粉分析	412
6 貝類	414
7 骨	414
第3節 地層及び地形	417
1 表層地形解析	417
2 ボーリング試料の解析	418
3 火山灰層	420
4 地震痕	423
第4節 年代論 放射性炭素年代測定(14C)法	426

第5節 ケミカルアプローチ	428
1 蛍光X線分析	428
2 鉄滓の分析	433
第6節 岩石や鉱物の分析－胎土分析－	435
第3章 地震とその災害	
第1節 愛知県周辺の地震と活断層	438
1 海溝型地震と直下型地震	438
2 愛知県周辺の活断層	443
第2節 愛知県の歴史地震	451
1 江戸時代中期（18世期）以前の地震	451
2 江戸時代後期（19世期）の地震	460
3 明治～昭和の地震	465
第4章 自然と人の営み	
第1節 人々の暮らしと気候	480
第2節 愛知でみられる都市の気候	481
1 県内の温度分布－都市と農村の気候の違い－	481
2 土地被覆と土地利用の変化	483
第3節 日向村と日陰村の気候	489
1 県内の気候地名とその分布	489
2 旧額田町（岡崎市額田地区）での気候観測の例	489
3 小気候の違いによる生活の違いと移り変わり	492
第4節 川と人の営み	492
1 愛知を流れる川のめぐみ	492
2 川との闘い－暮らしを守る知恵－	494
3 伊勢湾台風と東海豪雨による水害	496
第5章 近世・近代の土地開発と日記にみる自然災害	
第1節 近世・近代の土地開発	518
1 江戸時代の土地開発	518
2 明治時代の土地開発	521
3 忘れられた日本の景観－島畑－	526
第2節 元禄時代の自然災害－『鸚鵡籠中記』より	530
1 『愛知県災害誌』による災害記録	530
2 『鸚鵡籠中記』記載の地震	531
3 『鸚鵡籠中記』記載の雷	535
4 『鸚鵡籠中記』記載の火事	536
5 『鸚鵡籠中記』記載の風水害	537
第6章 近世尾張・三河の山、平野、海を結ぶ交通系と町	
第1節 近世の街道、町と湊	540
1 交通路とその結節点としての“町”	540

2 「共武政表」による明治初年、愛知県下の市街地	541
第2節 地形と街道	544
1 平野の地形と街道	544
2 山地の地形と街道	545
第3節 尾張の街道、川湊の概観	547
1 東海道と佐屋街道	547
2 尾張の主要な街道と川湊	548
3 外国人の通った美濃街道と東海道の記録	550
第4節 中馬街道と矢作川・豊川の舟運	553
1 中馬街道と中馬輸送	553
2 矢作川・豊川の川湊と舟運	556
第5節 地籍図に描かれた町と湊	557
1 新城と上津具－中馬街道の拠点	557
2 尾張、三河の湊	562
第6節 近代化の試みと挫折	566
1 熱田湊から名古屋港へ－近代港への脱皮	566
2 三河地方における鉄道敷設の試みと挫折	569
第7章 残したい貴重な動植物	
第1節 愛知の絶滅危惧植物	574
1 自然環境と植物相の特徴	574
2 絶滅危惧種の種類数	574
3 絶滅危惧種に至った原因	582
4 保全したい植物群落	594
第2節 愛知の脊椎動物	597
1 多様性と注目すべき野生動物	597
2 愛知の外来動物の現在	603
付録CD-ROM の紹介	619
引用文献	
あとがき	
執筆分担	
協力者一覧	
愛知県史編さん関係者名簿	